

COOL

施工資料

ミライア 設計・施工上の注意事項	1
ミライア 施工留意点	2
メモリア、イルミオ 設計・施工上の注意事項、施工留意点	3
鉄骨造非耐火構造	4
ウマ張り	20
ノンネイル納め	22
規模の大きな物件への対応	30

■ 対応下地工法

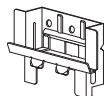
下地	工法	金 具	通気金具	釘打施工
鉄 骨 下 地		×	○	×
鉄骨造木下地		○	△	×
木 造 下 地		○	○	×

△：理論的には施工可能ですが、壁厚が厚くなりコスト増などの原因となります。

■ 認定番号一覧

区 分	部 位	認定番号	
		センチュリー・モエン外壁耐火構造	プラスター・モエン外壁耐火構造
1時間耐火構造	外壁（非耐力）	FP060NE-0194-2(1)(断熱材なし)	FP060NE-0251-1(1)(充填断熱材なし)
		FP060NE-0194-2(2)(断熱材あり)	FP060NE-0251-1(3)(充填断熱材あり)
		FP060BM-0351-1	FP060BM-0573
	FP060BM-0380-1		
	合成梁	FP060BM-0631	FP060CN-0819
合成柱（鋼管柱）	FP060CN-0563-2		
	FP060CN-0597-1		
合成柱（鉄骨柱）	FP060CN-0564-1	—	
2時間耐火構造	合成柱（鋼管柱）	—	FP120CN-0828-1(1)(充填断熱材なし)
	合成梁（鉄管梁）	—	FP120CN-0828-1(3)(充填断熱材あり)
30分耐火構造	外壁（非耐力）	FP030NE-0192-2(1)(断熱材なし)	—
		FP030NE-0192-2(2)(断熱材あり)	—
1時間準耐火構造	外壁（耐力）	—	QF060BE-9225
	間仕切壁（耐力）	—	QF060BP-9069
	柱	—	QF060CN-9031
45分準耐火構造	外壁（耐力）	—	QF045BE-9226
	間仕切壁（耐力）	—	QF045BP-9070
	柱	—	QF045CN-9032
防火構造	外壁（耐力）木造下地	—	PC030BE-9201
	外壁（耐力）鉄骨下地	—	PC030BE-9202
不燃材料（18mm厚品）		—	NM-2502
準不燃材料（16mm厚品）		—	QM-0639

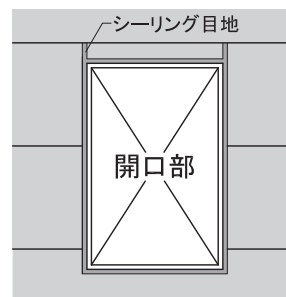
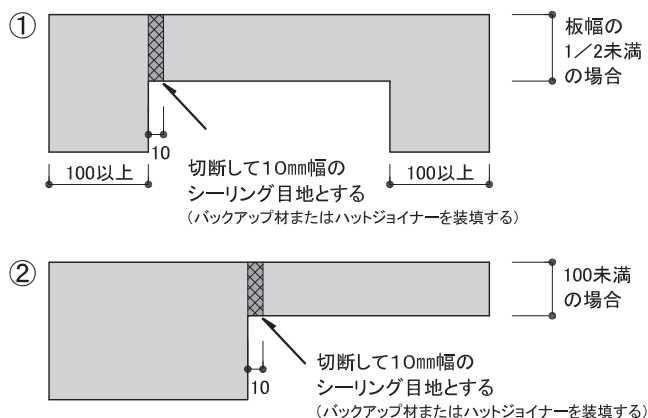
※防・耐火大臣認定が必要となる場合は、あらかじめ大臣認定別添の記載事項をご確認ください。



設計・施工上の注意事項

ミライア

- COOLミライアは、「イモ張り」「ウマ張り」に対応しています。
- COOLミライアには、本体と同質の出隅柱の設定がありません。また、シーリングはサッシ近似5色とステンレス色の設定ですので、次の点に注意してください。(表面イメージ色シーリングの設定がありません)
 - ・COOLミライアの出隅部は金属製部材で納めます。「ポーチ柱・袖壁部」への使用は、本体が小幅となり、施工および外観上お薦めしません。
 - ・COOLを「コの字形状」、「L字形状」に切り欠く場合、それぞれ、1/2未満の寸法、100mm未満の寸法になる部分には、割れ防止のためシーリング目地を設ける必要があります。COOLミライアには、表面イメージ色シーリングの設定がありませんので、「割れ防止のシーリング目地が必要になる部分」への使用はお薦めしません。また、その他、付帯設備、後付けされる付属物との取り合いにシーリングを使用する場合にも、表面イメージ色の設定がありませんのでご注意ください。
- ①コの字形状の場合は残りの板幅が1/2未満の寸法。②L字形状の場合は残りの板幅が100mm未満。
※切り欠きによってはシーリング目地が入ります。外観に影響しますので、事前の計画でご配慮ください。



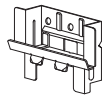
シーリング目地を設けた一例
四方合いじゃくり品も同様です。

- COOLミライアには、表面イメージ色補修液の設定がありませんので、取り扱いには十分注意してください。万が一目立った傷が入った場合は張り替えをしてください。

運搬・保管

ミライア

- COOLミライアは、傷、汚れが付きやすい商品です。COOLミライアの化粧面には、傷、汚れを防ぐ保護フィルムがありますが、保管・運搬・取り扱いには、十分注意してください。
- 開梱・棒積みしないでください。(施工直前に開梱してください。)化粧面に傷が付くおそれがあります。



施工留意点

ミライア

- COOLミライアはまとめて開梱せず、1枚ごとに切断・取り付け直前に開梱してください。
- 保護手袋は汚れのないものを使用してください。持ち運びや取り付けの際には、傷付けないよう十分に注意してください。

COOLミライアの切断

- ニチハ外装用カッター(オールダイヤモンドチップソー)を使用することで、バリを最小にすることができますが、切断には十分注意してください。
- COOLミライアは、化粧面を下に向け、裏面側から切断します。
- 化粧面は発泡系断熱材など、柔らかいもので養生してください。固いものの上で切断すると、傷が付くおそれがあります。
- COOLミライアの保護フィルムは、付けたまま切断してください。
- 発泡系断熱材には切り粉が溜まります。エアダスターを使い、しっかり除去してください。
- 壁つなぎなどが壁面と接する場合は、表面に傷が付かないよう柔らかい布などで養生してください。

COOLミライアの補修

小口(シーリングしない切断小口)

- シーリングしない切断小口は、モエンシーラーを塗布し乾燥後、見え掛かりとなる部分には小口専用補修塗料を塗布してください。見え掛かり以外の部分は、再度モエンシーラーを塗布してください。

ビス頭(補修シールの使用方法)

次の手順で補修します。

- 1) 先孔をあける(保護フィルムを剥がさずに行います)
- 2) 皿きりを使い、ビス頭の直径よりも1mm程度大きく座堀りする(保護フィルムを剥がさずに行います)
- 3) ビス留めする(保護フィルムを剥がさずに行います)
- 4) ビス頭周辺の保護フィルムを剥がす
- 5) エアダスターを使い、切り粉を吹き飛ばす
- 6) 補修シールを貼り付ける(※補修シールは、平滑に見えるよう貼り付けてください。ビス頭部が凹まないよう気を付けてください。)
- 7) 保護フィルムを戻す(※保護フィルムは、折り曲げないでください。折れ目が付いた保護フィルムを戻すと化粧面に線が出るおそれがあります。)
- 8) 状況に応じて、補修シールが目立たないよう加工してください。

■ 補修シール施工イメージ



※角度や光の当たり方により目立つ場合がございます。

シーリング工事

- 付着力の強いマスキングテープを使用しないでください。カモ井加工紙株式会社品番:SB246を推奨します。
- マスキングテープの糊が残った場合には、お湯または水を含ませた柔らかい布で糊を濡らして、柔らかくさせながら拭き取ってください。

COOLミライアの取り扱い

- 製品の表面を、簡易的に保護する目的で貼られている保護フィルムは、施工後できる限り早めに剥がしてください。
 - 保護フィルム除去後、ちり・ほこり・手垢汚れが付いてしまった場合、1)ちり・ほこり、2)手垢汚れの順に取り除きます。
- 1) ちり・ほこりはエアダスターを使い、しっかり吹き飛ばしてください。
 - 2) ちり・ほこりが残っていないことを確認した後、手垢汚れを柔らかい布で拭き取ります。汚れが残る場合には、中性洗剤と柔らかいスポンジで洗い流してください。